

平成 17 年 3 月 2 8 日
(財)岐阜県産業経済振興センター

「高齢者市場の活性化に関する調査研究～シルバーマーケットにおけるファッション産業の在り方～」結果について

1. 調査研究の趣旨

岐阜は東京・大阪と並んで国内三大アパレル産地の一つといわれているが、衣料品部門の国内需要の不振、中国を始めとする安価な繊維製品の輸入の影響を受け、事業所数・従業員数・出荷額とも減少している。

こうした低迷している繊維産業から脱却する一つの切り口として、55 才以上のシニア及び高齢者市場(以下、シルバーマーケットという)に注目し、この市場ニーズを的確に掴むため調査を実施した。

2. 調査研究のポイント

シルバーマーケットは高齢者という一つの枠で括ることはできない多種多様な人々が増えている。それは世代毎(年齢毎)、活動シーン毎に大きく拡がっており、その分類されたセグメント毎に対象者をしっかり認識することが重要である。

シルバーマーケットに受け入れられる戦略として、地域内の連携による研究会を設立する。各社が自社のリスクを持ちながら研究会で商品を開発し、生産・販売における地域内の連携を図る。

そしてこの連携を強固にするためにも織屋、ニッター、アパレルメーカー、デザイナーなどファッションに関連する企業と企業、人と人を結びつけ業界全体を盛り上げるようなキーパーソンを中心とした連携。により「優れた素材」、「優れたデザイン」、「優れた技術力」を取捨選択し、ブランドとしての商品展開が重要だと考える。

このプロジェクトはキーパーソンによってコンセプト毎に集合し、岐阜アパレル発のブランドを発信するなど、岐阜アパレル産業界自体が主体的に行なうことが求められるのである。

3. 担当者コメント

シルバーマーケットへの取組みは、平成 10 年以降に各種団体の設立やファッションショーの開催などが実施されており、まだ始まったばかりといえる。

今からシルバーマーケットに参入すれば岐阜アパレルがこの市場を大きく獲得できるチャンスがあると考えられる。

【問い合わせ先】

(財)岐阜県産業経済振興センター 企画研究部 國枝 義広

TEL (058) 277-1085 FAX (058) 273-5961 E-mail:kunieda@gpc.pref.gifu.jp